

# 松本市の景気動向

## — 中小企業景気動向基本調査 —

### 【令和元年 1 1 月】

■ 調 査 概 要 (データ対象期間：令和元年 1 1 月 1 日～1 1 月 3 0 日)

○調査期間：令和元年 1 1 月 2 8 日～1 2 月 2 0 日

○調査対象：市内中小企業 2 0 0 企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業 2 5 企業、製造業 2 2 企業、卸売業 1 2 企業、小売業 3 2 企業

飲食業 1 6 企業、サービス業 4 3 企業 (運輸、不動産仲介業を含む)

<合計 1 5 0 企業>

○調査項目：1 1 月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう 3 ヶ月の業況見通し (DI値を集計)

(注)DI (Diffusion Index) 値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI、水準DI ともにマイナス幅の縮小

### 1. 業況判断

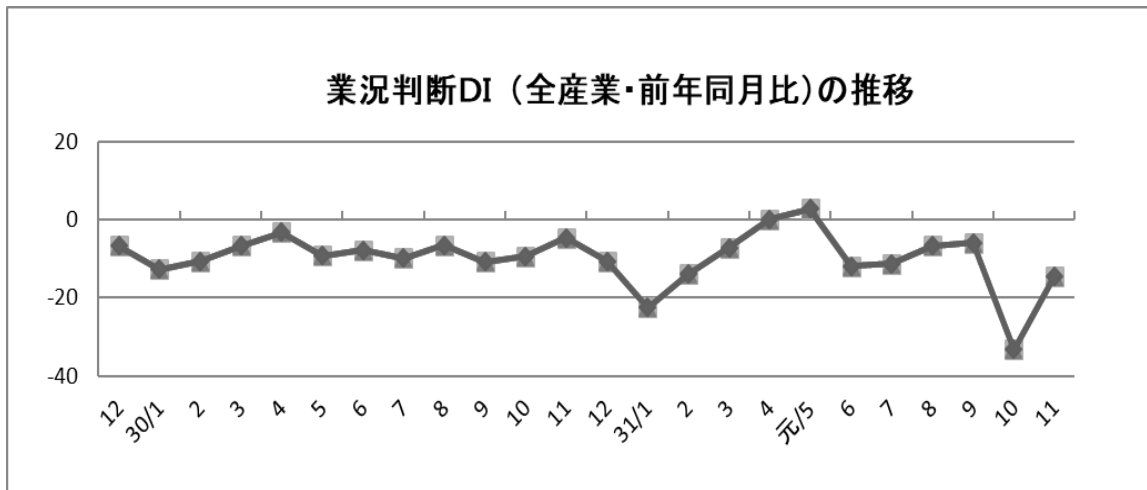
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲33.3）よりマイナス幅が18.6ポイント縮小し、▲14.7となった。業種別では、サービス業がマイナスからプラスに転じ、建設業はプラスからマイナスに転じた。製造業は0からマイナスになり、卸売業、飲食業、小売業、はマイナス幅が縮小した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲32.7）よりマイナス幅が16.1ポイント縮小し、▲16.6となった。業種別では、建設業はプラス幅が縮小し、サービス業はマイナスからプラスに転じた。製造業は0からマイナスになり、飲食業、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	13.3 (8.7)	58.7 (49.3)	28.0 (42.0)	▲14.7 (▲33.3) ↗	12.7 (7.3)	58.0 (52.7)	29.3 (40.0)	▲16.6 (▲32.7) ↗
建設業	12.0 (12.0)	72.0 (80.0)	16.0 (8.0)	▲4.0 (4.0) ↘	8.0 (12.0)	88.0 (84.0)	4.0 (4.0)	4.0 (8.0) ↘
製造業	18.2 (31.6)	40.9 (36.8)	40.9 (31.6)	▲22.7 (0.0) ↘	13.6 (26.3)	50.0 (47.4)	36.4 (26.3)	▲22.8 (0.0) ↘
卸売業	8.3 (0.0)	66.7 (50.0)	25.0 (50.0)	▲16.7 (▲50.0) ↗	8.3 (0.0)	50.0 (50.0)	41.7 (50.0)	▲33.4 (▲50.0) ↗
小売業	9.4 (7.1)	56.2 (42.9)	34.4 (50.0)	▲25.0 (▲42.9) ↗	6.3 (3.6)	43.7 (39.3)	50.0 (57.1)	▲43.7 (▲53.5) ↗
飲食業	0.0 (0.0)	56.2 (23.5)	43.8 (76.5)	▲43.8 (▲76.5) ↗	6.3 (0.0)	49.9 (23.5)	43.8 (76.5)	▲37.5 (▲76.5) ↗
サービス業	20.9 (4.3)	60.5 (51.0)	18.6 (44.7)	2.3 (▲40.4) ↗	23.3 (4.3)	60.4 (57.4)	16.3 (38.3)	7.0 (▲34.0) ↗

( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

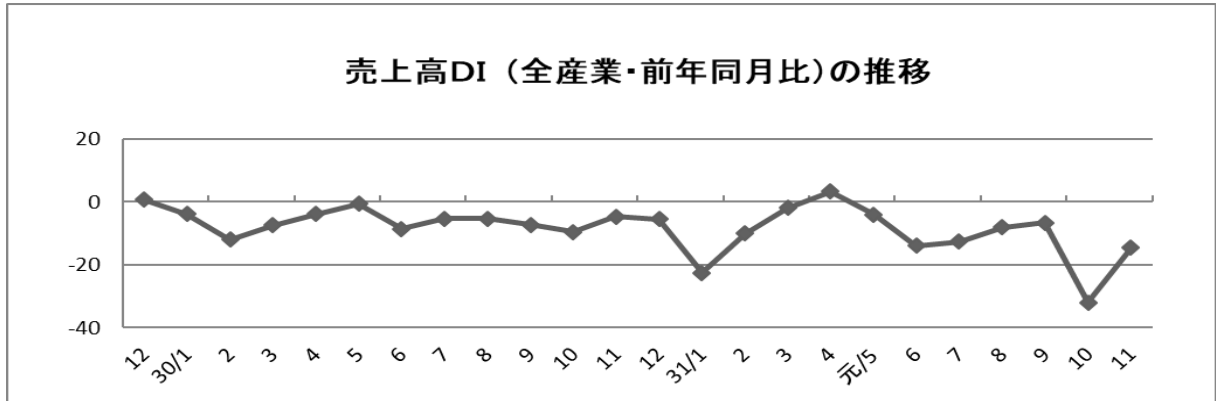


## 2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲32.0）からマイナス幅が17.4ポイント縮小し▲14.6となった。業種別に見ると、サービス業はマイナスからプラスに転じ、建設業はプラスから0になった。製造業は0からマイナスになり、飲食業、小売業、卸売業はマイナス幅が縮小した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全 体	▲ 5.4	▲ 9.4	▲ 22.5	▲ 10.0	▲ 1.9	3.3	▲ 4.0	▲ 13.9	▲ 12.6	▲ 8.0	▲ 6.6	▲ 32.0	▲ 14.6
建 設 業	14.3	0.0	▲ 10.0	▲ 20.0	8.4	▲ 8.7	▲ 26.1	▲ 13.1	▲ 8.3	0.0	▲ 4.0	4.0	0.0
製 造 業	▲ 16.6	▲ 19.1	▲ 36.0	▲ 10.0	10.0	4.4	▲ 4.8	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 35.0	13.6	0.0	▲ 18.2
卸 売 業	▲ 38.5	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 15.4	0.0	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0
小 売 業	▲ 13.4	▲ 6.0	▲ 29.6	▲ 12.0	▲ 12.9	▲ 3.6	▲ 14.3	▲ 20.7	▲ 25.8	6.7	13.3	▲ 39.3	▲ 21.9
飲 食 業	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2	11.1	0.0	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5	▲ 43.8
サービス業	10.0	▲ 9.5	▲ 6.4	10.5	6.6	10.8	16.7	6.4	▲ 4.2	4.0	▲ 12.8	▲ 34.1	4.6

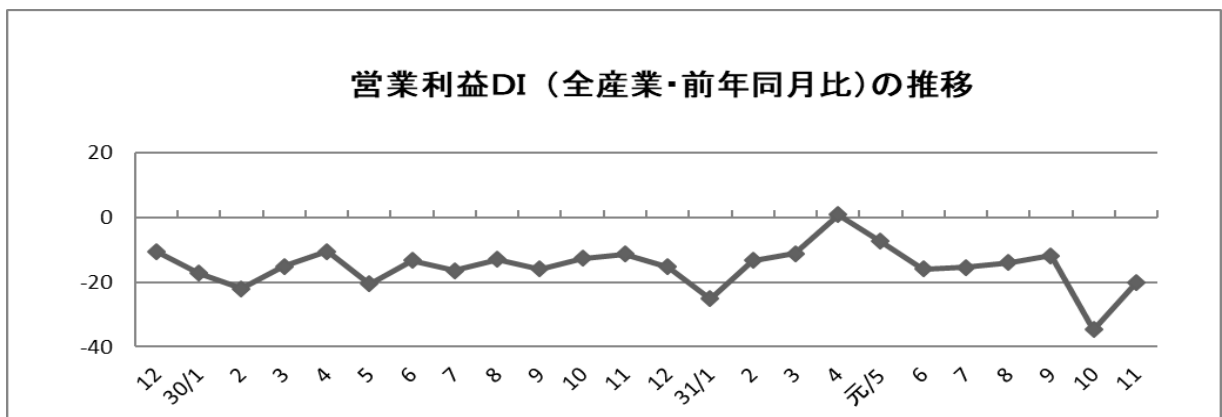


## 3. 営業利益D I（前年同月比）

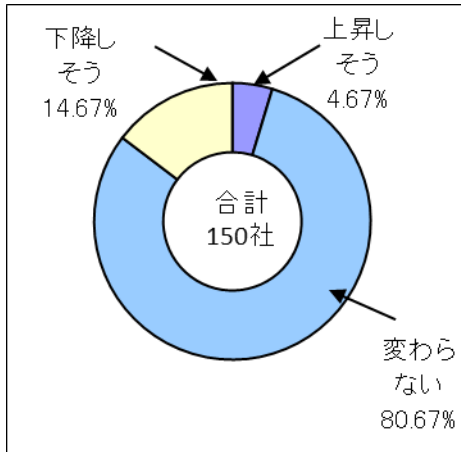
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲34.7）よりマイナス幅が14.7ポイント縮小し、▲20.0となった。業種別に見ると飲食業、サービス業、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小した。建設業は横ばいとなり、製造業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全 体	▲ 11.4	▲ 15.3	▲ 25.2	▲ 13.3	▲ 11.2	0.7	▲ 7.4	▲ 15.9	▲ 15.4	▲ 14.0	▲ 11.8	▲ 34.7	▲ 20.0
建 設 業	▲ 4.7	0.0	▲ 15.0	▲ 16.0	▲ 4.2	▲ 4.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 16.7	0.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 4.0
製 造 業	▲ 11.1	▲ 23.8	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 20.0	8.7	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 19.0	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 31.8
卸 売 業	▲ 30.8	▲ 7.1	▲ 40.0	▲ 6.7	▲ 7.7	25.0	8.3	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0
小 売 業	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 44.4	▲ 12.0	▲ 25.8	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 27.6	▲ 22.6	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4	▲ 28.1
飲 食 業	▲ 33.3	▲ 16.6	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8	0.0	▲ 5.5	▲ 47.1	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4	▲ 50.0
サービス業	4.0	▲ 14.3	▲ 6.4	2.1	4.4	2.1	▲ 2.1	4.3	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 17.1	▲ 31.9	▲ 4.6

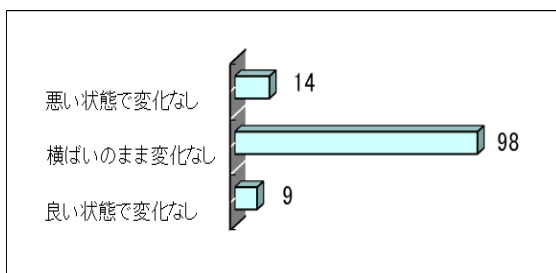


◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和元年12月～令和2年2月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ4.66ポイント減少し4.67%、「下降しそう」が0.67ポイント増加し14.67%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(▲27.3)、卸売業(▲16.7)、小売業(▲9.4)、飲食業(▲6.2)、サービス業(▲7.0)であった。

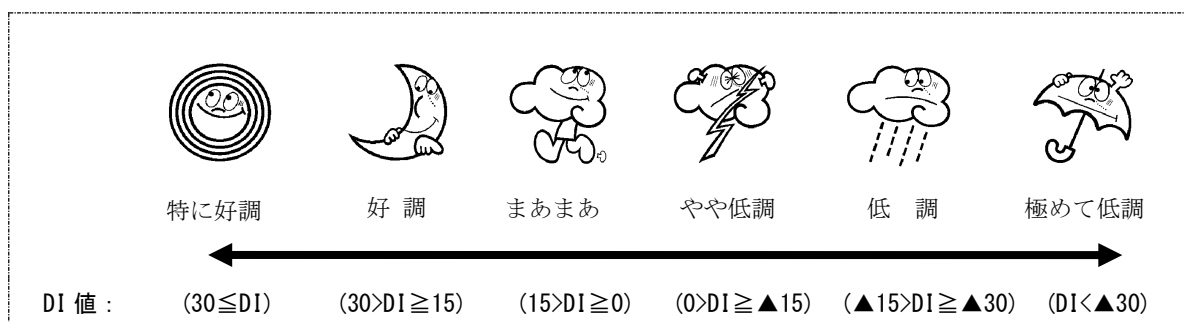
➡「上昇しそう」では「台風19号災害復旧工事が発注されるため」「小規模ながら公共工事が数件決まったため」(建設業)「リニューアル後のセールの出だしが良いと思うため」「よい水準で成長しているし、これからが繁忙期のため」(小売業)「12、1月に期待するため」(飲食業)「12月に入り一般の修理が増えそうのため」(サービス業)といった声が寄せられた。



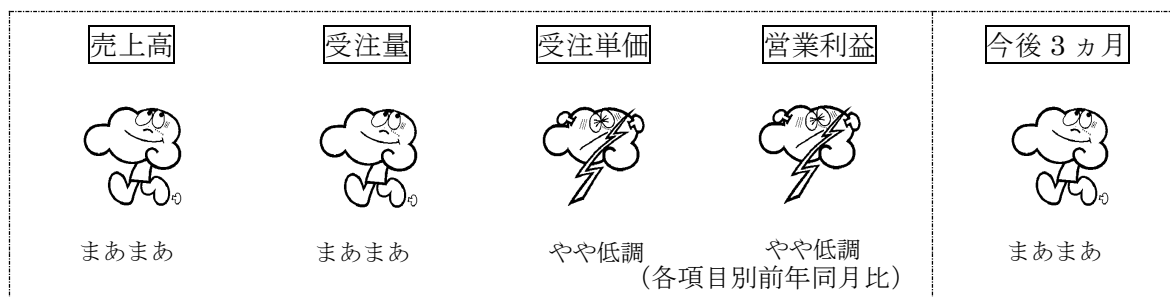
➡「下降しそう」では「大きな金額の受注工事が終わってくるため」「工事予定が少ないため」(建設業)「1～2月は閑散期のため」「業況悪化のため」「12月に入ってから受注が大幅に少ないため」「安値ネット通販印刷CMを頻繁に見る様になり、デフレが一層進むと懸念されるため」(製造業)「消費マインドの低下、駆け込み需要の終了のため」(卸売業)「寒さがことのほか厳しそうのため」「消費税増税による消費の落ち込みが進みそうのため」「松本山雅がJ2になったため」(小売業)「最も暇なシーズンのため」「働き方改革のためか大人数での会合を期待できないと思われるため」(飲食業)「シーズン終了のため」「台風の影響の復興割指定に入らなかったため」「現行プロジェクトの回収業務が一段落するため」(サービス業)といった声が寄せられた。

# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	14.3	0.0	▲10.0	▲20.0	8.4	▲8.7	▲26.1	▲13.1	▲8.3	0.0	▲4.0	4.0	0.0
受注量	9.5	13.7	▲10.0	▲12.0	▲16.7	▲8.7	▲8.7	0.0	▲12.5	4.0	4.0	20.0	4.0
受注単価	4.8	4.6	5.0	4.0	0.0	0.0	▲4.3	▲8.7	0.0	4.0	▲4.0	0.0	▲4.0
営業利益	▲4.7	0.0	▲15.0	▲16.0	▲4.2	▲4.4	▲13.1	▲17.4	▲16.7	0.0	▲8.0	▲4.0	▲4.0
見通し	4.8	13.7	10.0	12.0	▲4.1	13.1	13.0	4.3	8.4	▲4.0	▲4.0	4.0	0.0

## <経営者の目・見方・etc>

総合建設

・2月から台風19号による災害の復旧工事が発注される。松本建設事務所管内で約30億円規模が見込まれている。

建設業

・公共工事については例年並みに受注できている状況である。

建築工事

・前年の今頃に比べると下降していても、民間及び公共工事も小規模ながら決まっており、最近の受注のなかった状況からは上昇傾向である。

建築・土木工事

・ガードマンの不足により工事の着手ができない状況である。

土木工事

・ゼネコン各社の受注状況は比較的良好である。  
 ・技術者不足のため新規物件受注を手控えている状況である。  
 ・繰越工事が増加しつつある。

管工事

・消費税の増税が景気に及ぼす影響が心配される。

鉄工

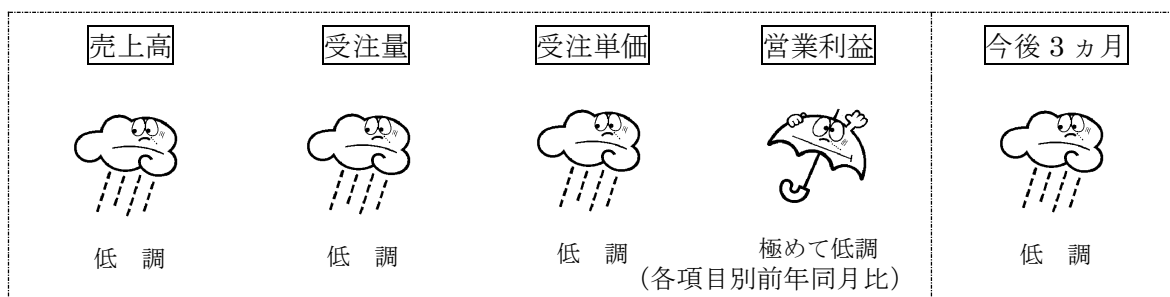
・人件費の比率が多いためかもしれないが、売上は上がったが、利益率が良くない。受注単価が上がらない限り改善が出来ないと思われる。

・年度末の駆け込みの仕事があったように思う。来年度は見通しが立たなく不安である。

鉄工

- ・約1年と思われるが停滞時期となり、消費税増税も重なる中で景気は後退局面になってくる気がする。十分注意してやっていかなければと感じている。
- ・いよいよ東京オリンピックに絡む様々な工事が終了近くなり、また大会期間中は首都圏方面の建設工事はストップする関係からか減速感が大きくなってきたように感じる。

## 2. 製造業



【項目別DIの推移】

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	▲16.6	▲19.1	▲36.0	▲10.0	10.0	4.4	▲4.8	▲22.8	▲4.8	▲35.0	13.6	0.0	▲18.2
受注量	▲22.2	▲23.8	▲40.0	▲5.0	0.0	8.7	▲14.3	▲9.1	▲4.8	▲10.0	4.5	▲10.5	▲22.8
受注単価	▲16.7	▲9.5	▲16.0	▲20.0	▲10.0	0.0	▲19.0	▲9.1	▲4.8	▲10.0	▲18.2	▲15.8	▲22.7
営業利益	▲11.1	▲23.8	▲32.0	▲30.0	▲20.0	8.7	▲19.1	▲18.2	▲19.0	▲45.0	▲9.1	▲10.5	▲31.8
見通し	▲11.1	▲14.3	12.0	0.0	▲10.0	▲30.4	▲14.3	0.0	▲9.5	▲20.0	▲18.2	▲15.8	▲27.3

### <経営者の目・見方・etc>

印刷

- ・消費税増税と台風被害の影響かと思われるが、11月としては過去10年で一番酷い数字となった。
- ・ネット通販印刷のTVCMを頻繁に見かけるが、あの価格が相場価格だと思われるようになってしまうと、地方印刷業は装置産業として、機械の支払いとそれを取り扱う工員の賃金をどの様に積み上げて行けば良いのか途方に暮れるところが多いのではと感じ、そのため全国的に異常なデフレが印刷業に横行して、入札最低価格制度が全く導入されない業界として業界自体がより一層苦しんでいく様な状況に至っている。地域で正しく人を雇用して仕事を進められる印刷業界でありたいと感じる。

紙器

- ・物流単価の値上げもあり消費税も上がって2ヵ月経ち、ますます製品の多品種少量化も進むのではないかと感じるので、ケースと緩衝材との一体化を進め物流における「強み」を出して行きたいと考えている。

金属塗装

- ・特に工作機械、半導体製造装置等の関連会社からの受注が減少している。

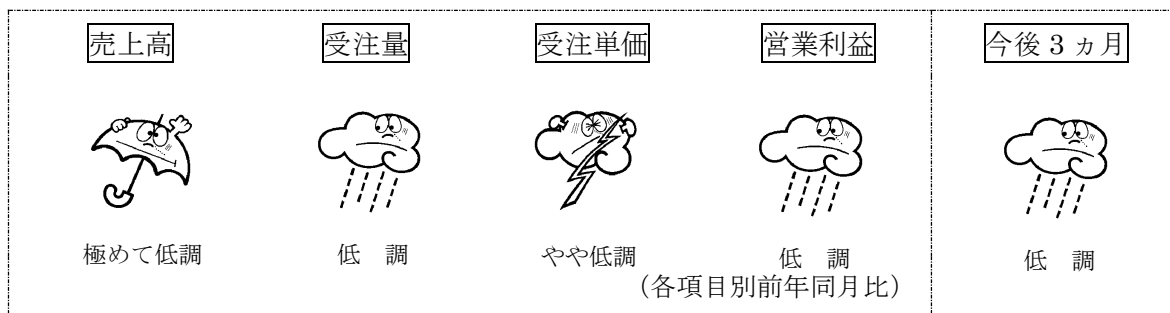
漬物・味噌

- ・キャッシュレス決済が動き出した。

酒類

- ・長野市の台風被害による風評により観光客が減少している。横ばいの状況はまだよいと感じる。
- ・清酒の需要期に入ったが、お歳暮ギフトは法人関連については毎年減少傾向にあり、また個人のギフトも数は減少しているが単価は若干上がり気味である。忘年会の自粛ムードも少しあり、需要はあまり明るくない状況である。

### 3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	▲ 38.5	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 15.4	0.0	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0
販売客数	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 7.7	0.0	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 16.7
販売客単価	▲ 7.7	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.4	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 35.7	▲ 8.4
営業利益	▲ 30.8	▲ 7.1	▲ 40.0	▲ 6.7	▲ 7.7	25.0	8.3	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0
見通し	▲ 7.7	▲ 14.3	▲ 6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	7.7	▲ 10.0	▲ 10.0	8.3	0.0	▲ 16.7

#### <経営者の目・見方・e t c >

土産品

- ・消費税増税の影響なのか未だ消費回復が見られない。上高地、黒部ダムなど冬季閉鎖に入り、ますます厳しい環境になる。

金属製品

- ・台風被害の影響が続いている。特殊バルブ部品が打撃を受け、自動車及び建機メーカーは組立出来ず、他部品の納入を制限するといった生産への影響が出ている。

機械工具

- ・在庫負担が増加傾向にあるが、先行受注分の在庫納期が短くなってきている。

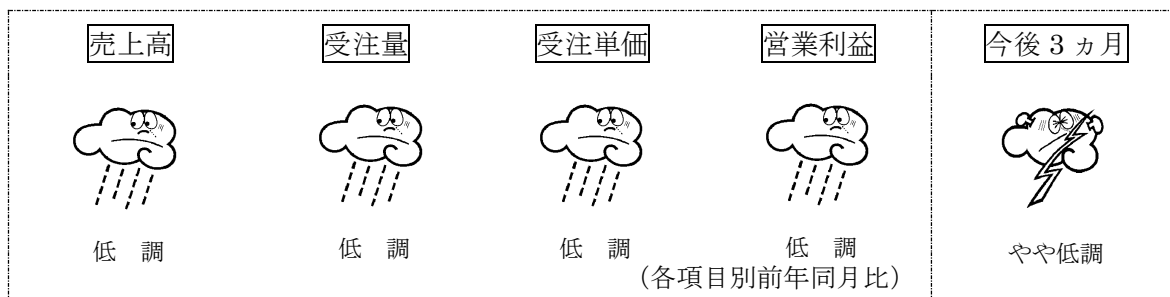
青果

- ・台風15～22号の広域な被害の影響が徐々に始まっている。2月頃まで若干の品薄と単価高で推移しそうである。

業務用食品

- ・10月からの改正消費税法による悪い影響が、今後発生しないことを願うばかりである。

## 4. 小売業



【項目別DIの推移】

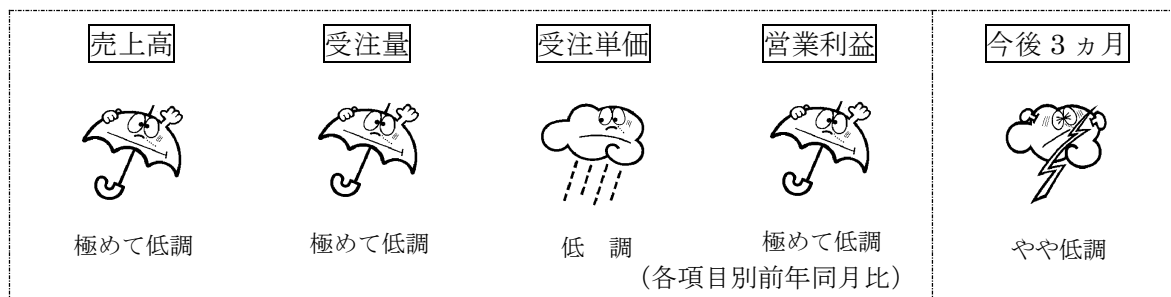
	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	▲ 13.4	▲ 6.0	▲ 29.6	▲ 12.0	▲ 12.9	▲ 3.6	▲ 14.3	▲ 20.7	▲ 25.8	6.7	13.3	▲ 39.3	▲ 21.9
販売客数	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 37.0	▲ 16.0	▲ 12.9	3.6	▲ 3.6	▲ 31.1	▲ 35.5	0.0	0.0	▲ 42.9	▲ 25.0
販売客単価	▲ 3.4	0.0	▲ 14.8	4.0	▲ 16.1	▲ 7.2	▲ 7.2	▲ 20.7	▲ 6.5	3.4	3.3	▲ 35.8	▲ 15.6
営業利益	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 44.4	▲ 12.0	▲ 25.8	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 27.6	▲ 22.6	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4	▲ 28.1
見通し	0.0	▲ 9.1	0.0	4.0	6.4	3.5	▲ 10.7	▲ 17.3	▲ 16.1	0.0	▲ 26.6	▲ 10.7	▲ 9.4

### <経営者の目・見方・etc>

- 印章
  - ・現金売上は昨年とほぼ変わらなかったが、キャッシュレス決済が前年比2.5倍になった。
- 印章・刃物研ぎ
  - ・久しぶりに100円均一の店に立ち寄り認印のショーケースをのぞいたら、同じ姓の印が2本3本と抜けていた。同型印の怖さを啓発しなければいけないと思う。
- 生鮮食品
  - ・昨年と比べると売上は少し伸びているが静かである。来月後半までこの状態が続きそうである。
- 洋菓子店
  - ・元日休みの店が出てきて良いことだと思う。
  - ・全ての業界で同じだと思うが、強い企業と弱い企業の差が顕著に現れる。働き方改革への取組や自分達の強みを活かした取組などを行わないと社会に取り残される気がする。天候や景気などの外部要因は大きくあるが目指す方向の確認や社員教育など「内部要因」を強化していきたい。洋菓子店は去年に続き今年も多く廃業しているので生き残れる強いお店を目指していきたいと感じる。
- パン
  - ・漠然とした不景気のマインドを懸念する。
- ショッピングセンター
  - ・問題に対する因果関係を明確にして安定経営を目指していこうと思う。
  - ・増税の反動、台風の影響などが集中した10月に比較して11月は比較的安定して推移した。ただし消費マインド自体は低調で、お客様に対して新たな提案を継続する必要がある。
- 住宅機器
  - ・来年の冷え込みがそろそろ始まりそうで心配である。
- 婦人服
  - ・11月6日～12日の感謝祭グランドセールで、「カシミアフェア」をした。ポイントを絞った事で盛り上がり予算を上回る成果が出たが、商材(フェア用)を返してから商材がなくなり後が続かなかった。
- 化粧品
  - ・消費税の増税、災害の影響がかなり消費に響いていると感じる。
- 陶磁器
  - ・雨の日がなく、気温も高めに推移したので、行楽地には良かったが、市街地では消費税増税の影響なのか又は所得が伸びないためなのか、人の出は今一つで売上は低迷した。今後のボーナス、年末商戦に期待したいと思う。



## 5. 飲食業








【項目別DIの推移】

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2	11.1	0.0	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5	▲ 43.8
販売客数	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 23.6	▲ 41.1	▲ 16.7	11.1	5.5	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 37.5	▲ 70.6	▲ 43.8
販売客単価	▲ 27.8	▲ 16.6	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 27.7	0.0	▲ 5.5	▲ 23.5	0.0	▲ 20.0	▲ 18.7	▲ 17.6	▲ 18.7
営業利益	▲ 33.3	▲ 16.6	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8	0.0	▲ 5.5	▲ 47.1	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4	▲ 50.0
見通し	11.1	▲ 11.1	0.0	11.7	▲ 11.1	0.0	▲ 5.5	11.7	0.0	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 5.9	▲ 6.2

### <経営者の目・見方・etc>

料理	・前月の災害の影響でお客様が動かない月であった。
中華料理	・国の施策事業で、10月からのキャッシュレス決算の導入、ポイント還元の事業が始まったが、テイクアウトに係る費用などのお客様に転嫁できない部分はデメリットになるので頑張って営業していこうと思う。
郷土料理	・閉山と共に減少する後半の流れは例年通りであったが、横ばいに戻すことができた。宴会の予約が少ないのが心配である。
創作料理	・12月に入り予約が入ったものの中旬過ぎまでで、下旬は僅か一組と低調に推移している。当店は地域内の町会や常会、各種団体が主なお客様なのだが忘年会を企画しても参加者が少なく、不景気による多忙さや地域の高齢化も大きな原因だと考えられる。
居酒屋	・消費税増税により客足の低下、今後冬のボーナスの多少で12月、1月の景気変動すると思う。
食堂	・イオンモールのブラックフライデーは盛況であった。3日間は周辺の道路は混雑したが、来客数も多く忙しかった。
そば	・自然災害や将来の年金問題、高齢者の医療費2割負担などの話題は厳しさをひしひしと感じられる。
寿司	・11月前半は、10月の台風の影響が一部残り懸念していたが、月を終わってみれば平年並みの結果であった。 ・もうすでにインフルエンザによる学級閉鎖をしている小学校もあるようで、その点含めて年末の集客に向けた準備を整えたい。 ・「Airレジ」に入れ替えたが慣れないためなかなかスムーズに使いこなせず、会計時に手間がかかりお客様を待たせる場面が時々あり、税率が違うものが一緒の会計になった時は非常にややこしく困ることがある。

## 6. サービス業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
まあまあ	まあまあ	まあまあ	やや低調 (各項目別前年同月比)	やや低調

### 【項目別DIの推移】

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	10.0	▲9.5	▲6.4	10.5	6.6	10.8	16.7	6.4	▲4.2	4.0	▲12.8	▲34.1	4.6
販売客数	0.0	▲9.5	17.0	2.1	4.4	4.3	0.0	4.3	▲8.3	2.0	▲14.9	▲40.4	0.0
販売客単価	4.0	0.0	▲2.1	6.2	6.7	▲4.4	2.1	2.1	▲6.2	6.0	▲6.3	▲25.5	2.3
営業利益	4.0	▲14.3	▲6.4	2.1	4.4	2.1	▲2.1	4.3	▲8.3	▲4.0	▲17.1	▲31.9	▲4.6
見通し	▲4.0	▲2.3	10.6	16.7	8.9	4.3	8.4	6.4	▲2.1	▲12.0	▲14.8	▲2.1	▲7.0

### <経営者の目・見方・etc>

自動車整備、  
板金塗装

観光旅館

温泉旅館

旅館

ホテル

リラクゼーション

タクシー

ソフトウェア

システムサポート

- ・異常気象の関係もあるのか、最近では11月からタイヤ交換をされる方が多くなっている。
- ・11月の自社イベントには700人近くのお客様が来店され盛況のうちに終了することができた。今後の売上に結び付けていきたいと考えている。
- ・10月は酷い天気だったが、暖かく唐松の紅葉も11月まで残り、お天気も良かったこともあり初めの連休は大勢のお客様で賑わった。11月15日で閉山するのが惜しいような温かさが続いたが、一方雪を楽しみに訪れた外国のお客様は残念そうだった。
- ・消費税増税の影響で消費者の財布のひもが少しずつ固まっているような気がする。そのため安いお店の方へ流れていく傾向になると思われ、デフレのイメージが強くなったように感じられる。
- ・10月の台風のためキャンセルされたお客様が11月になって来て下さり良かった。
- ・暖かく雪も遅かったので、入込は順調であった。
- ・宿泊は比較的好調で、宴会は例年並みだが、10月の消費税増税、台風被害での収入の落ち込み分が取り戻せない状況である。
- ・11月は売上増となり良かった。
- ・少し景気が悪いように感じる。
- ・上高地方面の今シーズンの営業は11月15日で終了した。
- ・年末が近づき、オート燃料価格が上昇してきた。
- ・業界の人手不足は相変わらずだが、軽減税率の対応等が一段落したので、本来のシステム企画的な提案活動を行っていききたい。2021年の「新収益認識基準」も気になるところである。
- ・10月度の消費税増税後、受注減の反動もあり売上は盛り返した。年末年始の景気動向には不安が残る。

機械設計	・現状はまあまあの仕事量で、忙しさはない。
測量・建設コンサル タント業	・11月は災害復旧業務のため技術者不足で、どこの会社も遅くまでの残業、休日出勤で仕事をこなしていた。
ホームクリーニング・ リネンサプライ	・10月の台風19号の影響もあったが何とか前年並みに売上は回復してきた。被災された地域の一日も早い復興を祈るばかりである。